学校番号	211

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	古典Ｂ	単位数	3	年次	3
使用教科書	「精選　古典Ｂ　改訂版」（三省堂）						
副教材等	・改訂版　読み・解き・覚える「日本文学史必携」（第一学習社） ・「錬成古文２プラス」（尚文出版） ・「常用国語便覧」（浜島書店） ・「古文単語 325」改訂版（尚文出版） ・「新精選古典文法」 改訂版（東京書籍） ・「漢文入門＋まとめ＋問題練習」（浜島書店）						

１ 担当者からのメッセージ

古典の学習において以下について心掛けること。
・３年生では、多種の著名な古文や日本漢文の作品を読む。
　語彙力や古文常識、文法の知識を総合させ、正しく文章を理解し、心情を理解する。
・グループワーク等を通して文章の理解に主体的に取り組む。
・予習と復習のバランスを考え、学習の定着を図る。
・定期考査は、学習計画を立て、基礎学力の充実と文学読解力を伸長する機会とする。
・提出物は不備なく、提出期限の厳守に心掛け、学習内容を深める手立てとする。

２ 学習の到達目標

・古典を読解する能力を養うと共に、より広く深い教養を身に付ける。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。
・古典常識や文法を身につけることで、論理的に思考する態度を身に付ける。
・物語の概要や登場人物の心情を理解することで、人間関係における相互理解を深め、
　正しく意思を伝え合うことを尊重する態度を身に付ける。
・言語感覚を磨き、場面に応じて活用できる豊かな表現力を身に付ける。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育む。

３ 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	d:読む能力	e:知識・理解
評価の趣旨	言語文化に対する関心を深め、国語力を身につける。	文章を的確に読解し、考えを発展させている。	知識を身に付け、国語力に繋げている。
評価の方法	行動の観察 記述の点検 （ノート等）	記述の確認及び分析（ノート等） 定期考査	記述の確認 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期中間	随筆	「枕草子」 二月つごもりごろに	○			◎	○	・筆者の美意識やものの見方を読み取る。 ・当時の宮廷生活を理解する。 ・古語・文法を正しく理解する。	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト及び定期考査
	日記	「蜻蛉日記」 うつろひたる菊	○			◎	○	・作者の生活や心情を読み取る。 ・当時の社会制度や平安女流日記文の特徴を理解する。 ・古語・文法・敬語を正しく理解する。	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト及び定期考査
一学期期末	物語	「源氏物語」 心づくしの秋	○			◎	○	・「源氏物語」への理解を深め、興味関心を高める。 ・登場人物の心情・当時の女性の社会的立場を行動に即して読み取る。 ・古語・文法・敬語を正しく理解する。	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト及び定期考査
二学期中間	物語	「大鏡」 東風吹かば 都府楼の鐘	○			◎	○	・歴史の流れ中の登場人物の境遇や心情を読み取る。 ・歴史物語の分野から登場人物の行動等古人の慣習について理解し、現代との比較ができている。 ・漢詩の修辞技法・句法を日本漢文から学ぶ。敬語・読解の前提となる文法事項を身につける。	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト及び定期考査
	日記	「和泉式部日記」 夢よりもはかなき世の中を	○			◎	○	・筆者の人間観察力や表現力を味わう。 ・当時の女性の教養・社会を理解し、宮中生活の中での人間関係を読み解く。 ・古語・文法・敬語を正しく理解する。	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト及び定期考査
二学期期末	評論・漢詩	「風姿花伝」 「長恨歌」	○			◎	○	・筆者の考え方を理解する。 ・物語の展開の構造を知る ・展開を読み取る。 ・漢詩を正しく理解する。	・行動の観察 ・定期考査 ・小テスト及び定期考査
学年末	評論	「俊頼髄脳」 沓冠折句の歌 「去来抄」 行く春を	○			◎	○	・近世人からの古典研究や文学探究の取り組みを理解する。 ・持論の展開を読み取る。 ・古語・文法を正しく理解する。	・行動の観察 ・定期考査及び記述 ・小テスト及び定期考査